

F4b

7月27日

14:40~15:25

会議室B

## 事例研究

## 村木 完多

株式会社 日立製作所

情報・通信システム社 プロジェクトマネジメント統括推進本部

企画員

## 仮想化技術を活用したシステム保守効率化施策の検討

## 講演概要

現在、弊社にて運用しているAシステムは、日立グループ内のシステム開発をサポートする基幹システムである。年々ユーザが増加しており、毎月1000を大きく超えるプロジェクトで適用され、毎日数千人が利用している。この利用増に対応するため、随時WEB/APサーバの増設を進めており、現在、9台のWEB/APサーバにて運用している。

本システム運用においては、システム保守作業の実施を目的として、月に1回日曜日を計画停止日としている。この日は、システムが全面停止するため、全ユーザが利用停止となる。運用者はこの1日の中で稼動中に実施できない保守作業を実施する。

こうした中で、多くのユーザからは月に1回のシステム全面停止についても短縮できないかという要望が多く寄せられている。また、運用者の中でも休日作業が必須となる状況が負担となっている。そこで、システム保守の効率化について検討を行った。

最近では、仮想化技術の本番環境に適用した事例を見かける機会も多くなってきた。現在運用しているシステムにおいても、テスト環境作成においてはサーバ仮想化によるメリットを享受しているが、本番環境においてはまだ有効な活用手段を見いだせていないのが現状であった。今回、仮想化技術を用いて、ユーザ視点、運用者視点双方でメリットが見込めるように、保守作業を効率化する方式をまとめたので、紹介する。

F4b

7月27日

14:40~15:25

会議室B